# 村直 均分 石环 写它 秦隹 言志 THE JOURNAL OF JAPANESE BOTANY

第十一卷第十號(通卷第百十號)昭和十年十月發行

## うらぼし屬ノ形態學的觀察 (共一)

小 倉 謙

Y. OGURA: Morphologische Beobachtungen der Gattung Polypodium (I)

予輩在外研究/砌、昭和四年獨逸 München 大學植物學教室=於テゲーベル教授 (Prof. K. von Goebel) = 師事シテ羊齒類 = 關スル事ヲ研鑽セリ。予ノ最初ノ目的ハ Lepicystis 屬ノ鱗片ノ吸水性 = 關スル事ナリ。該屬ハ Polypodium 屬中特 = 葉面 = 多數ノ楯狀鱗片ヲ密生スル故ヲ以テ建テラレシ属ニシテ、ソノ鱗片ノ構成ハ吸水性ヲ以テ有名ナル Tillandsia 屬 = 類スル所アレドモ、予ノ實驗ノ結果ハ消極的 = 終レリ。然ルニ該屬 = 屬スル種ノ鱗片ヲ詳細 = 見レバ必ズシモ楯狀ナラズシテ心臓狀ナルモノアリテ、該屬ヲ建ツルノ正否ニツキ疑ヲ生ジタルヲ以テ、該教室ニ臓スル Polypodium 屬ニ屬スル各種ノ鱗片並ニ其他ノ形態學的諸形質ヲ比較シ、以テ困難ナル Polypodium 屬ノ分類ノ再檢討ヲ企テタリ。然レドモ、コレラノ諸形質亦甚ダ區ペニシテコノ方面ヨリスルモ尚 Polypodium 屬ノ分類ノ至難ナルノ結論ニ達シタリ。乃チコノ企モ亦寧ロ消極的ニ終レリ。

斯ノ如ク、予ノ研鑽ノ結果ハ消極的ナリショ以テ其ノ結果ノ發表ヲ躊躇セリ。會々中井教授リガ Polypodium 屬ノ分類ノ評論ヲ試ミラレショ以テ予ハ更ニ發表ヲ躊躇セリ。而シテ同教授ノ評論ハ未完成(?)ノマ、今日ニ及ビシガ、最近伊藤洋氏シノ本邦産 Polypodium 屬ノ總目鉄ノ公表アリ。思フニ同氏ノ研究ハ中井教授ノ衣鉢ヲ繼ギシモノナルベケンモ、尚ソノ分類法必ズシモ中井教授ト一致セザル點アルハ如何ニ該屬ノ分類ノ至難ナルカヲ物語ルモノトイフベシ。

予ノ結果ハ形態學的研究ヲ以テシテモ該屬ノ分類ノ至難ナルヲ物語ルニ過ギザレドモ、 會々予ノ舊稿ノ一部ヲ獨逸ニ於テ出版スルノ機會ヲ得、且從來コノ方面ノ研究ニ尠キ所ア ルヲ以テ、只觀察ノ結果ヲ上梓ニ附スルモ亦徒事ナラズト信ジ、コノ機會ニ於テ舊稿ヲ纒

<sup>1)</sup> NAKAI: Notes on Japanese ferns. VIII. 植物學雜誌 四三卷 昭四 p. 6。

② 伊藤: 日本しだ類=ユース. 植物研究雑誌 ――卷昭一○(二月號p.88及六月號p.426)。

メテ敢テ本誌=載スルニ至リシ所以ナリ。只撼ムラクハ、其ノ取扱ヒシ種甚ダ多ク、ソノー々ニツキ記載スルハ紙上ノ許サベル所ナリ。

Polypodium 屬ハ CHRISTENSEN (1906) ノ目錄ニョレバ 784 種ヲ含ム大屬ニ シテ羊齒類中ノ最大屬ナリ。葉柄基部ノ關接スルコト・裸出セル 胞子嚢群ヲ 有 スルコトヲ特徴トス。然レドモ、コレニ屬スル種ハ多數ニシテ甚ダ異ナル型ノ モノヲモ含ムタメ、古來之ヲ別チテ數乃至十數ノ屬或ハ亞屬トシ、又或特徵ヲ 有スル種ヲ撰ミテ特殊ノ屬或ハ亞屬ヲ設クルナド、其ノ分類ハ朝秦暮楚、全ク 混淆トシテ手ノ下シ難キ感アリ。從テ Polypodium ナル屬名ニモ 廣狹兩義ア リ、コトニハ廣義ノ意ナリ。斯ノ如キハ獨リ本屬ニ留ラズ他ノ羊齒類ニモ遍ク 見ラル、現象ナリト雖モ、本屬ハソノ種多キダケ其傾向極メテ著シキモノアリ、 CHRISTENSEN ノ目錄ニ無慮九十ノ異屬名ヲ擧ゲタリ。コレ從來ノ分類ハ葉脈・ 胞子囊群・ソノ他ノニ三ノ特徴ニョリテ試ミラレシヲ以テ、中ニハ全ク正鵠ヲ 失スルモノト考ヘラレル、モノ尠カラズ。例へバ葉ニ多數ノ鱗片ヲ有スルヲ 以テ一屬 Lepicystis ヲ設ケ、葉及 胞子囊群中=腺毛アルヲ以テ一屬 Adenophorus ヲ設ケ、胞子嚢群ガ葉ノ路沒セル濫中ニ隱ル、ヲ以テー屬 Cryptosorus ヲ設クルガ如キハ、只叙上ノ特徴ノミヲ以テ獨立ノ屬トナセシニ過ギザルガ如 シ。即チコレラハ所謂自然分類法ニアラズシテ、眞ノ自然分類ニハ總テノ形質 ヲ總合スベキ事論ヲ俟タズ。

予輩在外研究=際シ獨逸 München 大學植物學教室=於テ、其ノ藏スル腊葉標本並=若干ノ生品=ツキテ Polypodium 屬ノ形態學的特徴ヲ比較スル所アリ、ソノ材料三百種以上=及ベリ。今茲=記載ノ便宜上 Hooker-Baker (1874), Christ (1897), Diels (1902), Christensen (1906) ノ分類法=ヨリ、主トシテ葉脈ノ狀態ヨリ分ケタル五亞屬 Eupolypodium, Goniophlebium, Phlebodium, Campyloneuron, Pleopeltis (以下 § ヲ以テ示ス) =別チ、更=必要アル時ハ他ノ異屬名(以下 § ヲ以テ示ス) ヲ設ケタリ。而シテ種名ハ Christensen ノ目録ニヨリ、又屬ノ範圍モ之ニョレリ。

研究=用ヰシ材料ノ大部分ハ乾燥セル標本ナルヲ以テ不完全ナルハ発レズト 雖モ、幸ニシテ Polypodium 屬ノ大部分ノ乾燥セル莖・葉等ノ切片ハ之ヲ水ニ 入ルレバ殆ド舊態ニ復スルノ 性アルヲ 以テ予ノ 觀察結果ハ殆ド 生品ニ近シト 見テ可ナラン。

本屬ニ關スル形態學的研究ニシテ從來既ニ行ハレタルモノアリ、莖ノ構成ニ 關スル METTENIUS³, KLEIN、葉ノ構成ニ關スル THOMAE, POIRAULT、葉脈ニ 關スル Presi, Fée, Mettenius<sup>1,2</sup>、胞子嚢群ニ關スル Goebel<sup>2,3</sup> 等ソノ主ナルモノニシテ、ソノ他ニ關シテハ逐條述ブル所アルベシ。

本研究ヲ成ス=當リ München 大學植物學教室 故 GOEBEL 教授、SCHOENAE 氏=負フ所多シ。記シテ謝意ヲ表ス。

#### 第一、莖

### 甲、形狀及背腹性

Polypodium 屬ノ大部分ハ爬伏セル根莖ヲ有シ。葉ハ根莖ノ背部=於ケル二線上=交互シテ排列シ、且根ハ根莖ノ下面=附着スルヲ以テ所謂背腹性ヲ最モ明瞭=示セリ。シカモ節間長ク、且葉柄ハ其基部=於ケル關接部ョリ落チテ其基部ヲ根莖上=留ムルヲ以テョク葉ノ排列狀態ヲ知ルヲ得ベシ。而シテ莖ノ背腹性ハソノ內部構造殊=中心柱ノ構成=及ブモノ=シテ、中心柱モ明ナル背腹性ヲ示ス(Mettenius³, Klein, Conventz)。然レドモコノ關係ハ常=必ラズシモ明カナラズシテ Klein ハ根莖上面=二列以上=排列スル場合アルヲ指示セリ(例、P. taeniosum)。又小形ナル種、殊= § Eupolypodium 中=ハ節間短縮シテー見爬伏性ノ甚ダ不顯著=シテ且關接部ノ明瞭ヲ缺キ莖ノ爬伏スルヤ直立スルヤノ區別ヲ見ルノ甚ダ困難ナル場合アリ。カ、ル場合=ハ外觀ヲ以テシテハ其眞性ヲ知リ難ク、其中心柱ノ構成=ヨリテ始メテ之ヲ知ルヲ得ベシ。予ハカ、ル外觀上不明瞭ナルニ三ノ § Eupolypodium ノ根莖ノ連續切片ョリ中心柱ノ構成ヲ見シ=、ソレ=背腹性ヲ示スモノ(例、P. zeylanicum, P. lasiostipes),及放射性即チ葉ノ螺旋狀=排列スルモノ(例、P. setigerum, P. sub-pinnatifidum)アルヲ知ル。

元來羊齒類=於テ、放射性ノ莖ガ原型=シテ爬伏性ハソレヨリ導誘セラレシモノナルハ予ノ常=信ジ諸家モ亦一致スル意見ナルヲ以テ、本屬ノ大部分=於テ莖ノ爬伏性ヲ有スルハ誘導型トイフベシ。CHANDLER ガ P. aureum ノ幼莖ガ放射的構成ヲ示セドモ成長=伴ヒ次第=爬伏スル=至ル事ヲ認メシハコノ考察ヲ裏書スルモノトイフベシ。

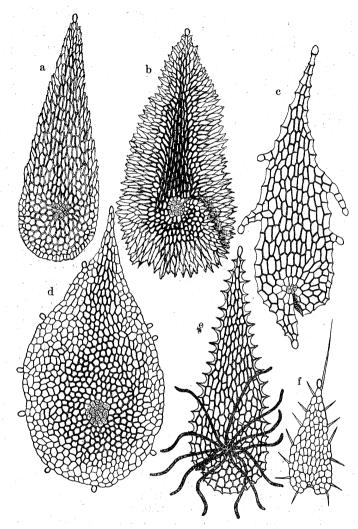
#### 乙、毛

根莖ハスベテ鱗片狀毛ヲ以テ蔽ハル。ソノ形狀・多寡・構造ハ種ニョリ甚ダシク異リ、且單純ナル毛ヲ共有スル少數ノ種アリ。コレラ鱗毛ノ構成ハ葉ノ鱗毛ニ類スレドモ、後者ョリ遙ニ多種ニシテ且複雑ナリ。コノ鱗片ノ形狀・大サ・色彩等ハ古來分類ノ一助トシテ分類學上ニ主要視セラレ、ソノ構造ニツキテハ多少ノ研究アレドモ (Buscalioni, Bower, Poirault) 未ダ詳細ナル研究ハ行ハ

- イ、**鱗毛**。鱗毛ハ概ネ淡乃至濃褐色ニシテ披針形ヲ呈シ、根莖ノ長軸ニ沿ヒテ排列シ、ソノ裏面ニ小柄アルヲ以テ寧ロ楯狀ヲ呈スル事多シ。比較的永續性ニシテ永ク莖面ニアルヲ普通トスレドモ、中ニハ夙ニ脫離シテ成長後ハ莖面ノ殆ド裸出スルニ至ル事アリ(例、P. leiorhizum).
- (一) 構成。鱗毛ハソノ構成上ョリ凡ソ次ノ二種ニ大別シ得ベシ(第1圖、第2圖)。
- ○楯狀鱗毛。 全體ハ披針形=シテソノ膨レシ部分ノ裏面=小柄アリテ全ク楯狀ヲ呈ス (第1圖 a,d)。各亜屬=之ヲ見ル (例、P. polypodioides, P. Viei-llardii, P. leucophorum, P. albidos quamatum, P. fuscopunctatum, P. oodes)。
  ○心臓状鱗毛。 全體ハ披針形=シテソノ膨レシ方ノー端ハ心臓状=鬱入シソノ奥=小柄アリ。而シテコノ心臓部ノ游離セル二片ハ相離レテ明カ=心臓状ヲ示ス事アレドモ(第1圖c,f)、中=ハ之ガ相重ナリテー見楯狀ヲ呈スル事アリ(同圖b)、殊=大形ノモノ=コノ傾向著シ。之モ亦各亜屬=見ルモノ=シテ、且他ノ羊齒類ノ鱗片モ一般=コノ型ナリ (例、P. subfalcatum, P. lasiostipes, P. macrodon, P. aureum, P. lachnopus)。

以上二種ノ型ハソノ範例的ノ場合ニハ明瞭ニ區別シ得レドモ、時ニハ同一種ノ鱗毛ニ兩型ヲ混ジ、又ソノ中間形即チ半バ心臓形ニ切込メル楯狀ヲ呈スル事勘カラズ(例、P. Catharinae, P. punctatum, P. Schraderi)。又心臓形ノ兩縁が餘リ著シカラザル時ハ寧ロ羽狀ヲ呈スルノ過程ヲ示スヲ見ルベシ(例、P. triangulare)。又 P. argutum, P. decumanum(第2圖j)ノ鱗毛ハ心臓狀ナレドモ柄附近ニ尚他ノ小鱗片狀ノモノアリテ本體ト離レタル瓣狀ヲナシテ重ナル。

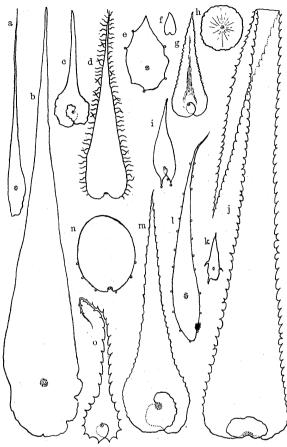
(二) 形狀及大キサ。鱗毛ノ大キサハ甚ダシク差異アリ同一根莖=於テモ可成リ蓍シキ差アリ。只概シテ大ナル根莖上ノモノハ小形ノ根莖上ノモノョリ大形ナル傾向アリ(第2圖)。今其ノ大キサヲー々指示シ能ハザレドモ、予ノ見シ



第 1 圖 根莖ノ鱗毛 (×15)

- a. P. polypodioides Hitch.;
  b. P. plebejum Schl.-Cham.;
  c. P. lasiostipes Mett.;
  d. P. Vieillardii Mett.;
  e. P. lanceolatum L;
  f. P. subfalcatum Bl.

最大形ハ P. decumanum = アリ長サ 30 mm 以上、時= 38 mm =達ス (第2 圖j)。小形ナル鱗毛ハ小形ナル根莖ヲ有スル \$ Eupolypodium =アリテ 1 mm 内外ノモノ多ク(同圖f)、0.5 mm ニ滿タザルモノモ尠カラズ。



第2圖 根莖ノ鱗毛 / 形狀及大キサノ比較 (×6)

a. P. leucophorum BAK.;

c. P. macrodon HK.;

e. P. fuscopunctatum HK.;

g. P. leucosticton Kze.;

i. P. dolichopterum Copel.; j. P. decumanum Willd.;

k. P. oodes Kze.;

m. P. aureum L.;

o. P. lachnopus Wall.

b. P. albidosquamatum BL.;

d. P. trifidum Don;

f. P. Glaziovii BAK.;

h. P. sinuosum WALL;

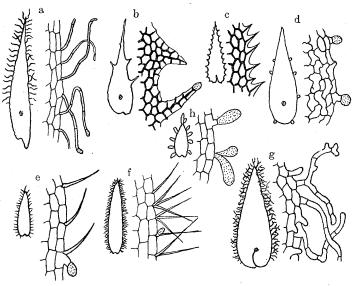
1. P. Lindbergii Mett.;

n. P. leiorhizum WALL;

又鱗毛ノ輪郭ハ多様 ニシテ、同一種ニ於テ モ形狀ヲ異ニスル場合 アリ、ソノ主ナル場合 ヲ擧グレバ (第2圖)、 各種ノ披針形ナルハ最 モ普涌ノ場合ナレド モ、尙圓形 (同圖h) (例、P. sinuosum), 橢 圓形(同圖n)(例、P. leiorhizum)、卵形(例、 P. crystalloneuron), 彗星形 (同圖 c) (例、 P. macrodon, P. argutum), 紡錘形 (タタ 、P. Lindbergii, P. chrysolepis) 等アリ。

(三) 邊緣。鱗毛ノ 邊緣ハ殆ド全圓ナル場 合モアレドモ (例、P. leucophorum, P. leiorhizum, P. polypodioides) 多クハ多少ノ 凹凸アリ、著シキ時ハ 鱗毛ノ形狀ニ著シキ影 纏ヲ及ボスベシ (第3 圖)。卽チ單細胞ノ腺 ヲ有スル場合(同圖 d, h)(例, P. incurvatum,

P. Merillii, P. subscabrum)、單細胞ノ針毛ヲ有スル場合 (同圖 e, f) (例、P. pumilis, P. cultratum, subfalcatum, P. tenuiculum)、單細胞乃至多細胞/長毛 ヲ有スル場合(同圖 a) (例、P. squamulosum, P. trifidum)、分枝セル長毛ヲ有 スル場合 (同圖g) (例、P. ebenipes) 等ニハ鱗毛本體ノ形狀ニ大ナル影響ヲ



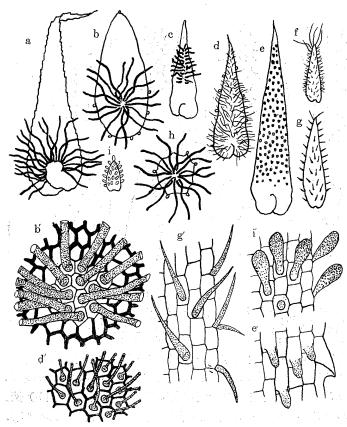
第 3 圖 根莖ノ鱗毛ノ邊緣部ノ比較 (全形 ×8 一部廓大 ×50)

- P. squamulosum Klf.;
- P. accidens Bl..; P. pumilis Hier.;
- g. P. ebenipes Hk.;
- P. Brownii Wikstr.;
- b. P. incurvatum Bl.; đ.
- P. cultratum WILLD.;
- P. Merillii Copel.

及ボサズト雖モ鱗毛ニ蓍シキ特徴ヲ與フルモノトイフベシ。之ニ反シ、邊緣ノ 一乃至 數細胞ガ突出シテ 鋸齒狀ヲ示ス場合 (同圖 c) (例、P. decumanum, P. lachnopus, P. accidens)、多數ノ細胞群ガ不規則=突出スル場合(同圖 b)(例、 P. oodes, P. Brownii) ニハ鱗毛ノ輪郭ニ影響ス。尚コレラガ共通ニ具ハル事、 例へバ針ト腺トヲ共有スルモノ、細胞群突起上ニ腺ヲ有スルモノ等尠カラズ。 (四) 表面。以上述べシ腺・針・毛等ハ單ニ邊緣ノミナラズ鱗毛ノ表面ニモ見

ル場合アリ (第4圖)。コレラニツキ特ニ述ブル事アラントス。

腺。鱗毛ノ尖端ニハ通例一個ノ棍棒狀細胞アリ、ソノ形狀ト多少黄褐色ヲ呈 スルヲ以テ他ノ細胞ト區別シ得ベシ。コレ他ノ羊齒類ニモ廣ク見ラルヽモノニ シテ粘液或ハ樹脂ヲ含ムモノナリ (GARDINER-ITO, HÖHLKE)。コノ種ノ細胞ハ 通例頂點ニー個アレドモ尚前述ノ如ク邊緣ニモ認メ得ベク、ソノ數・分布ハ種ニ ョリテ異ナリ。コノ腺細胞ノ特ニ大キク長クシテ甚ダ 顯著ナルモノ § Eupolypodium 中ニアリ、P. tamariscinum ニテハ鱗片ノ頂ニ、P. Merillii (第3圖h), P. subscabrum ニテハ邊緣一帶ニアリ、更ニ著シキハ P. corticolum (第4圖i) ニシテ獨リ邊緣ノミナラズ表面ニ亘リテモ遍ク存ス。P. Gorge ノ鱗毛ノ頂ニ



根莖ノ鱗毛ノ表面突起ノ比較 (上圖 a-g ハ全形×8. 下圖 b'-g' ハー部廓大×50)

- a. P. subpetiolatum L.;
- b. P. macrosphaerum BAK.;
- c. P. subamoenum Clark.;
- d. P. persicifolium Desv.;

- e. P. Wallichianum Spr.;
- f. P. suspensum L.;
  - g. P. khasyanum Hk.;
- h. P. normale Don;
- i. P. corticolum Chr.

レドモ尚二針以上ガ分枝スルガ如ク生ズル事アリ(同圖f)。又針ト腺トハ共存 スル事アリ。然ルニコノ針ガ單ニ鱗毛ノ邊緣ノミナラズ表面一帯ニモ見ル事ア リ \$ Eupolypodium 中=可成リ多シ (第4圖 f, g) (例、P. suspensum, P.

khasyanum, P. senile, P. obliquatum) $_{\circ}$ 

毛。 鱗毛ノ邊緣ニ毛狀突起アル事前述ノ如クナルガ、斯ノ如キモノハ尚鱗 毛ン表面ニモアリ (第1圖e,第4圖)。コレハ從來モ既ニ觀察セラレシガ(Ffin,

ハ不規則ニ分 枝セル細胞群 アリ、ソノ各 枝ノ頂ノ細胞 ニ白色ノ内容 物ヲ含ム。

針。鱗片ノ 邊緣ニ細長キ 針狀細胞ヲ有 スル種アル事 前述ノ如ク、 カ、ル場合ニ ハソノ頂端近 クニモ アリ、 後者ノハ特ニ 長シ(第1圖 f)。コレラハ 尖端ノ尖レル 針狀ノモノニ シテ殆ド無色 ナレドモ、尙 濃褐色ヲ呈ス ル場合アリ。

胞上或ハ二個 ノ細胞間(第

通例一個ノ細

3圖 e) = 生ズ

Poirault) 餘リ注意セラレザリシガ如シ。Poirault ハ之ヲ P lepidotum (P. lanceolatum) =見テ吸水ノ役ヲナスモノナラント述ベタリ。コノ毛狀突起ハ鱗 毛表面ノ細胞ノ突起ニシテ通例濃褐色ノ單細胞ヨリ成リソノ分布ニ種々ノ型アリ。最モ普通ニハ鱗毛ノ柄ノ附着點ニ對スル表面ヨリ出ヅル場合ニシテ(第 4 圖 a, b, h) (例、P. lanceolatum, P. macrophaerum, P. normale, P. subpetiolatum, P. microrhizoma), 尚鱗毛ノ殆ド全表面ヨリ出ヅル場合 (同圖 d) (例、P. persicifolium, P. plectolepis), 柄ノ附着點ヨリ中肋ニ沿ヒテ出ヅル場合 (同圖 c) (例、P. subamoenum, P. amoenum) 等アリ。兹ニ趣味アルハ P. Wallichianum (同圖 e) ニシテ、鱗毛ノ表面ノ各細胞ニ褐色ヲ呈セル絨毛状突起アリ、恐ラク毛状突起ノ酸達ノ著シカラザルモノナルベク、P. amoenum, P. subamoenum (同國 c) ノ突起モ左程著シカラズ。P. normale (同圖 h) ノ鱗毛ハ小形ノ多角形ノモノナルガ、ソノ中央表面ヨリ出ヅル毛状突起ガ長キタメ鱗毛ソノモノガ隱ル、程ナリ。

(五) 細胞膜。 鱗毛ノ細胞膜ノ 構造モ亦種ニョリテ著シキ 差アリ。柄ハ短クシテ多細胞ョリ成リ、ソノ附着點ニ近キ鱗片部ハ二列乃至數列ノ細胞層ョリ成リ、之ニ續ク中肋部モ亦二三列ノ層ョリ成レドモソノ兩側ノ大部分ハスベテー列ノ細胞層ョリ成ル。然レドモ P. heterocarpum ノ如キハ鱗毛ノ横斷面ハレンズ形ニシテ中央ハ六七列ノ細胞ョリ成リ兩側ニ向ヒ次第ニソノ列ヲ減ジ、兩端ノ僅カノ部分ノミガー層ナリ。

細胞膜ノ狀態ヲ見ル=、薄膜=シテ褐色ヲ呈シ細胞膜ノ輪郭ノ甚ダ明瞭ナル場合(第1圖f)(例、§ Eupoly podium ノ大部分、P. glauco pruinatum)、稍厚膜=シテ細胞膜ノ輪郭ノ甚ダ明瞭ナル場合(同圖 c, e)(例、P. musifolium, P. lasiostipes, P. nutans, P. Brownii)、膜ガ淡褐色或ハ殆ド無色=シテ輪郭ノ不明瞭ナル場合(同圖 a)(例、P. lepidopteris, P. lycopodioides, P. trifidum, P. stramineum, P. aureum)、鱗毛ノ中肋部ガ濃褐色且厚膜=シテソノ兩側=向ヒテ次第=淡褐色且薄膜トナル場合(同圖 b)(例、P. plebejum, P. leucosticton, P. Schraderi, P. polylepis, P. angustum)等アリ。コレラハ最モ範例的ナル膜ノ狀態ナレドモコレラハ絕體的ノ區別=アラズシテ、一鱗毛=テ以上ノ型ヲ共有スルガ如キ場合尠カラズ。

細胞膜ノ厚膜ナルハ主トシテ縦膜(鱗毛ノ表面=直角ナル面)ノミニシテ、ソノ横膜ハ甚ダ薄シ。コレ表面ヨリ見テ細胞膜ノ輪郭ノ甚ダ明瞭ナル所以ナリ。之ヲ"clathrat"型ト稱ス (GOEBEL³)。而シテコノ縦膜面ノ肥厚ハソノ面ノ中央=於テ著シクレンズ形ヲナスト雖モ、尚中央ノミ膨レテ內皮細胞ノ"カ

スパリー氏點"ノ觀ヲ呈ス事アリ(例、P. musifolium. P. jubiforme)。之ニ 反シ細胞膜ガ縦横面共平等ニ肥厚スル場合アリ、コノトキハ表面ヨリ見レバソノ輪郭不明瞭ナリ(例、P. polypodioides, P. platyphyllum)。

(六) 柄。 鱗毛ノ柄ハ短小ニシテー端ハ根莖ノ表面ノ淺キ 窪ニ入リテソレト接着シ、他端ニ鱗片本體ヲ戴ク。概シテ鱗毛ノ大ナルモノハ柄モ大ナリ。スベテ多細胞ヨリ成リ、ソノ横斷面ハ圓形ナレドモ多少變形シテ半月形ヲ呈スル事アリ、特ニ心臓狀鱗毛ニ於テ然リトス。概シテソノ細胞膜ハ薄シ。

鱗毛本體ト柄トハ明=區別シ得ベキモノナレドモ、小ナル心臓形ノモノニ於テハ柄ハ短小ニシテ兩者ノ區別ノ明瞭ヲ缺ク事アリ。而シテ或場合ニハ鱗毛ノ下端ガ次第=細マリテ柄ニ續キ兩者ノ界ノ明カナラザルアリ。コノ場合ハ心臓狀ヲナサズシテ 寧ロ羽狀ヲ呈スルモノナルベク(斯ル型ハ 胞子嚢群間ニ多シ。其項参照)、P. triangulare ハソノー例ニシテ、鱗毛ノ基部ハ次第ニ細マリ單細胞ノ柄トナリテ莖面ニ接着ス。

P. dictyopteris ハ他ノ最モ著シキ場合ニシテ、披針形ノ鱗片基部ハソノマ、 莖面ニ附着シ特ニ柄ヲ認メズ。P. Raciborskii, P. mexicanum モ之ニ類ス。

ロ、毛。 Polypodium 屬ノ根莖面ニハ鱗毛ノ間=單純毛ヲ混入スル種アリ、 又稀ニ毛ノミヲ有シ鱗毛ヲ缺ク種アリ(第5圖)。

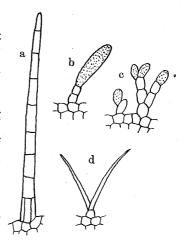
專ラ單純毛ノミヲ有スルハ P. flabellivenium ナリ (第5 圖 a)。CHRIST モ描キシ如ク、根莖面= 2-3 mm ノ褐色ノ長毛密生シ、各ハー列ニ連ル十個內外ノ細胞ヨリ成リ只基部ノミニ三個ノ細胞集リテ根莖面=接着ス。P. muscoides (同圖 d)、P. minutum ノ根莖ノ表面=アルモハ之ト異形ニシテ、根莖面ヨリ突起セルー細胞ノ頂=一乃至數個ノ細長キ堅キ針ヲ附着セルモノニシテ、前種ニ於テハ葉面=モ同様ノ毛アリ。

「勝毛ノ間= 單純毛ヲ有スル主トシテ § Eupolypodium ニアリ。 P. subfalcatum. P. subsessile ノ根莖ニハ小形ノ鱗毛アリ、ソノ邊縁又ハ全面=多數ノ針アリ(第1圖 f)。然ルニコノ針ガ直接基面ヨリ出ヅルモノヲ混入ス。コレラノ針ハヨク其形狀一致ス。 P. Merillii, P. tamariscinum, P. hymenophylloides ノ根莖ニハ小形ノ鱗片アリ、ソノ頂又ハ邊緣ニ特ニ長形ノ腺細胞アリ(第3圖h)。然ルニコノ腺細胞ガ莖面ノー二個ノ細胞突起上ニアルモノ(第5圖 b)ヲ混入ス。コレラノ腺細胞ハヨク形狀一致ス。又 P. Gorge ノ根莖ニアル鱗毛ノ頂ニ不規則=分枝セル絲狀突起アリテソノ頂端ニ白色ノ内容ヲ含ムモノナルガ、コレラニ混ジデコノ絲狀突起ガ直接根莖面ニ附着スルヲ見ル(第5圖 e)。

コレラ根莖面ノ毛狀突起ガ鱗毛ノ頂或ハ邊緣ニ於ケル毛狀突起ト同形ナル事

實へ前者ガ鱗毛ノ本體ノ退化ニョリテ生ジタル事ヲ豫想セシムルモノニシテ、實際ソノ本體ノ著シク縮小セル中間型ヲ見ル事勘カラズ。而シテ P. muscoides ノ如ク毛ノミヲ有スルハソノ退化ノ最モ著シキ場合トモ考ヘラル。尤モ、羊齒類ニ於テ單純毛が次第ニ發達シテ鱗毛ト成ルトイフハ一般ノ定說ナルヲ以テ、鱗毛ナキ P. muscoides ノ如キモノョリ次第ニ鱗毛體ノ發達ヲ見シモノトモ考フルヲ得ベシ。

P. flabellivenium ノ場合ハコレラト趣ヲ異ニシ純然タル單純モナリ。然レドモ其基部ガニ三列トナレル事ハ注目スベキ事ニシテ、予ハ之ト同型ノモヲ Gymnogramme hirta ノ根莖ニ見タリ。而シテ G. argentea ニ於テハコノ型ノモノ外ニ全長一列細胞ノモノヨリ扁平ナル磯玉ニテル久瀬ノ井移刑ヲデスヲリテ



第 5 圖 根莖ノ毛 (×50)

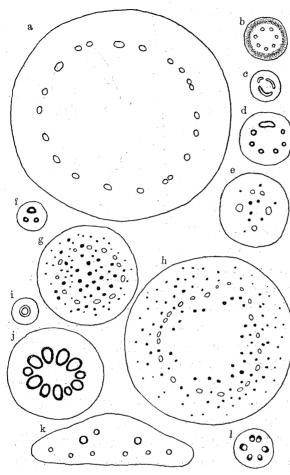
- a. P. flabellivenium Bak.;
- b. P. tamariscinum Klf.:
- c. P. Gorge Rosens.;
- d. P. muscoides Copel.

ナル鱗毛=至ル各種ノ推移型ヲ示スヲ以テ、コノ毛ハ鱗毛ト相同ナリトモ見做シ得ベシ。 \$Loxogramme ハ Gymnogramme 屬中=偏入セラル、ヲ普通トスルモ Polypodium 屬中=偏入セラル、事アリ (Christ, Diels, Christensen)。ソノ鱗毛ハ \$ Eupolypodium型ノ小形ナルモノニシテ、一端ハ心臓形ニシテ特ニ基部ノ明ナラザル傾向アリ、甚ダシキ時ハ全ク扁平ナル基脚部ヲ以テ根莖面ニ附着ス (例、P. Raciborskii, P. mexicanum)。然ルニ 根莖面ニハコレラ鱗毛ニ混ジテ褐色ノ細長キ單細胞ヨリ成ル根毛狀ノ毛多シ (例、P. Raciborskii. P. mexicanum, P. Blumeanum, P. dimorphum, P. iridifolium, P. loxogramme, P. scolopendrium, P. parallelum)。然ルニ基部ノ廣キ鱗毛ヲ有スル種ニ於テハ、コノ毛ハ鱗毛ノ基部ノミナラズ 更ニソノ 本體ノ表面ニモ及ビテ存シ (例、P. Raciborskii)、之ヲ鱗毛上ニ毛狀突起ヲ有スル型 (前述) ヘノ推移型ト考フルヲ得ベシ。

丙、內 部 構 造

根莖ノ內部構造ハ乾燥標本ニテハ 詳細ニ知リ難シト 雖モ中心柱ノ排列・厚膜 組織ノ分布等ヲ知ルヲ得ベシ。

イ、形狀及大キサ。 根莖ノ横斷面ハ略圓形ニシテソノ中ニ略外圍ニ平行ニ 並ブ中心柱ノ環アリ。然レドモ小形ニシテ葉ノ密生スル § Eupolypodium ニ於



第6圖 根莖ノ橫斷面ニ於ケル形狀・大キサ・中心柱 (自圓)ノ排列・厚膜組織(黑點)ノ分布ノ比較 (×4)

a. P. brasiliense Poir.;

b. P. typicum FÉE.,

P. subpinnatifidum AL; d. P. percussum CAV.;

P. niponicum Mett.;

f. P. piloselloides L.;

g. P. stenophyllum Bl.;

h. P. palmatum BL;

P. setigerum Bl.;

i. P. Bamleri Rosens.;

P. megalophyllum Desv.; I. P. Sodiroi Chr.-Rosens. 排列ハ一環上ニアリ。METTENIUS<sup>3</sup>ハ Polypodium ノ各種ノ中心柱ノ立體的構

テハソノ横斷面ガ葉柄 基部ノタメ不規則ナル 輪郭ヲ示スコト多シ (第6圖)。

予ノ見シ最大ノ根莖 ハ P. brasiliense = シ テ徑 15 mm 以上 =達 シ (同圖 a)、小ナルハ § Eupolypodium ノ各 種ニシテ徑 1 mm 以 下ノモノ勘カラズ(同 圖c,f)。素ョリ同一種 ニ於テモ個體ニョリテ ソノ大キサヲ異ニスル 事アルハ論ヲ俟タズ。

然ルニ根莖ノ横斷面 ガ著シク扁平ナル事ア リ、GOEBEL<sup>1</sup> ハ之ヲ "Kurstenstamm" } 稱シ P. imbricatum(= P. mirabile), P. Schomburgkianum (=P. megalophyllum) =見ル。 予ノ見シ P. megalophyllum モ明ニ之ヲ示 セリ(同圖k)。KARSTEN モ之ヲ記セリ。

中心柱。Polypodium 屬ノ根莖ノ横 斷面ニ於ケル中心柱ノ 成ヲ比較シ、單純ナル P. piloselloides ョリ P. squamulosum, P. caespitosum, リ。其他 Polypodium 属ノ中心柱=闘シテハ CONVENTZ, KLEIN, DE BARY 等ノ研究アリ(コレラハ POSTHUMUS =總括列擧セラル)。コレラヲ總合スル=本屬ノ中心柱ハ背腹的有孔網狀中心柱狀 (dorsiventrale "perfolierte" Diktyostele) タリトイフ=一致セリ。即チ中心柱ハ背腹的構成ヲ示セル網狀中心柱ナリト雖モ尚葉隊以外ノ隊ヲ有ス。故=横斷面ヲ以テスレバ中心柱ハー環=並ベル多數ノ分柱ヨリ成ル。然レドモ予ノ觀察ノ結果ハ必ズシモ之ト一致セズシテ、背腹的ナラザルモノ或ハ管狀中心柱ヲ有スルモノヲ見ル。

(一) 網狀中心柱。上述ノ如ク Polypodium 屬ノ大部分ノ種ハ背腹的有孔網狀中心柱タリ。コノ關係ハ素ヨリー横斷面ヲ以テ知リ難シト雖モ、葉ガ背面ニニ列=排列スルニモ係ラズ中心柱ノ腹面ニ於テモ隙ヲ見ルハー見シテ有孔性タルヲ知ルニ足ルベシ。予ノ詳細ニ見シニ三ノ種ニ於テモ亦然リ。一横斷面ニ於ケル分柱ノ數ハ甚ダ差異アリ、大形ナル根莖ハ概シテ多數ノ分柱ヲ有シニ十個以上ニ及ビ(第6圖 a, h)、之等ハ五ニ離合シテ籠目狀トナル。TANSLEY ハ斯ル網狀中心柱ヲ特ニ "dissected"型ト稱セリ。之ニ反シ少數ノ分柱ヨリ成ル場合ニハ三個位ニ達スルモノナルガ(同圖 f)、分柱ソノモノハ小形ニシテ隙大キク管狀中心柱ト區別セラル。

元來 Polypodium 屬ハ背腹性甚ダ顯著ナルタメ中心柱ノ構成上ニモコノ性ヲ示セリ。METTENIUS<sup>3</sup> ハソノ觀察セシ多クノ種ニ於テソノ背面ニ位スル分柱ガ特ニ他ヨリ著ルシク大形ナルヲ指示セシガ、予ノ見シモノノ大部分ニテハ斯ル傾向ハ殆ド認メ難ク、僅ニ少數ノ種ニ可成リ顯著ニコノ傾向ヲ示セリ(同圖 d, f) (例、P. percussum, P. piloselloides, P. lycopodioides, P. glaucophyllum, P. Meckenii, P. nematorhizon)。

- (二)管狀中心柱。根莖ノー横斷面=於ケル中心柱ハー乃至二個アリ、又假令三個以上アリトスルモ分柱が細長キ帶狀ヲナスコトアリ、コレラハ管狀中心柱或ハ之=類スル網狀中心柱トイフベシ(同圖 c, i)。コレ § Eupolypodium = 可成リ見ラル、型=シテ從來殆ド認ラレザリシモノナリ。予ハ斯ル傾向アルニ三ノ種ノ中心柱ヲ詳細=比較シタリ。P. lasiostipes ハ背面=二列ノ葉隊、腹面=一列ノ葉隊=關係ナキ隊ヲ有スル網狀中心柱ヲ有シ、P. zeylanicum ハ背面=二列ノ葉隊ノミヲ有スル管状・網狀中心柱ノ中間型ヲ示シ、P. subpinnatifidum =テハ葉隊が略 2/5 ノ螺旋狀排列ヲナス放射的網狀中心柱ヲ有シ、又 P. setigerum(同圖 i)=テハ同型ナレドモ葉隙が相離ル、ヲ以テ管狀中心柱ナリ。即チ後二種ハ放射的中心柱ヲ有シ、後三者ハ葉隙ノミヲ有スル中心柱ナリ。
  - (三) 髓走中心柱。 髓走中心柱ハ 未ダ Polypodium 屬=知ラレズ。然ル=

予ハ之ヲ P. jubiforme =見タリ。根莖ノ横斷面=於テハ中心柱ハ三個內外ノ 分柱ョリ成リ、ソノ中央=明ナル小形ノ一個ノ髓走中心柱ヲ見ル。コノ走向= ツキテハ詳細=知リ能ハザリシガ或部=於テ中心柱本體ノ內面=癒着セリ。コ レコノ種=正型ナル異常型ナルヤハ材料不足=シテ確ムルヲ得ザリキ。

尚早田教授ハ P. pseudotrichomanoides ノ根莖ガ 有髓原生中心柱ヲ有スル事ヲ發見シ新屬 Micropolypodium ヲ設ケタリ。

(四) 維管束。維管束ノ構造ハ乾燥標本ニ於テハ詳細=知リ難シト雖モ、既 = DE BARY ノ指示セシ如ク、木部ガ専ラ假導管ヨリ成ルモノ (例、P. superficiale, P. Lindbergii, P. phymatodes), 假導管間= 柔組織細胞ヲ混入スルモノ (例、P. myriocarpum, P. curranii) アリ。

維管東中特ニ顯著ナルハ P. Bamleri ニシテ(同圖j)、維管東ハ甚ダ大形ニシテ十個內外接着シ各ハ褐色ノ厚膜組織ニ包圍セラル。而シテ之ヲ成ス假導管モ亦大形ニシテ柔組織ヲ含ム。P. curranii, P. persicarifolium, P. superficialeノ維管東モ可成リ大形ナレドモ假導管ハ左程著シカラズ。

ハ、厚膜組織。 根莖ノ基本組織ハ主トシテ無色薄膜ノ柔組織ヨリ成リ甚ダ吸水性强ク、乾燥セル材料ニ水ヲ加フレバ膨大スル性アリ。然レドモ柔組織ガー帶ニ褐色ヲ呈スル事アリ、殊ニ § Eupolypodium ニコノ傾向多ケレドモ細胞膜ソノモノハ尚薄膜タリ。

基本組織中=於テ最モ顯著ナルハ黑褐色ノ厚膜組織ノ存在ナリ。コレ羊齒類一般=存スルモノ=シテ Russow, Walter, Goebel³, Poirault 等ノ研究アリ。コレ柔組織細胞ノ膜ノ特=肥厚シ同時=着色セルモノ=シテ、ソノ黑褐色ナルヲ以テ小塊ト雖モヨク認メウベシ。ソノ分布狀態=次=如キ別アリ(第6圖)。(一) 散在性ノモノ即チ基本組織中=遍ク分布スル場合ハ最モ普通=シテ又他ノ羊齒類=モ最モ普遍的ノモノナリ(同圖 e,g,h)。之ヲ Goebel³ ハ 'Sklereidennester"、Walter ハ "Stützbündel"ト呼ベリ。Polypodium 屬=於テ、\$ Campyroneuron =テハ總テノ種=アリト 雖モ \$ Phlebodium 及 \$ Eupolypodium(二三種ヲ除ク)=テハ總テノ種=フリト 雖モ \$ Goniophlebium 及 \$ Pleopeltis=テハ之ヲ有スル種ト否トハソノ數略相半バス。尤モソノ分布狀態・各ノ大キサ等ハ種=ヨリテ可成リ差異アリ、多數ガ略平等=排列スル場合(同圖 g)、比較的少數ガ疎=排列スル場合(同圖 e)等アリ。著シキ時ハ基本組織ノ殆ド全部ヲ埋ムル=至ル(例、P. serrulatum, P. capillare, P. depressum)。(二)中心柱分柱ノ周圍=アリテ之ヲ包圍スル場合=ハ略二三列ヲナスモノ=シテ Russow ハ之ヲ "Stützscheide ト呼ベリ(同圖 f,j)。Polypodium 屬

=於テハ各亞屬=之ヲ認ム(例、P. piloselloides, P. tectum, P. nematorhizon, P. Blumei, P. myriocarpum)。然レドモコノ組織ハ不安定=シテ同一ノ根莖=
於テモアル分柱=アレドモ他=之ヲ缺クガ如キ(例、P. monstrosum)、或ハ 分柱ノ全面ナラズシテー側ノミ=存スルガ如キ(例、P. Billardieri, P. incospicum, P. rigescens)場合アリ。元來分柱ヲ包ム基本組織ノ最內層ハ多少肥厚ス ル膜ヲ有シ、殊=ソノ內面膜=於テ著シク、且同時=着色スル性アルヲ以テ、 コノ型=ハ各種ノ中間型ヲ認ムベシ。

(三) 根莖ノ周邊近クニ存在スル場合アリ、自ラ黒褐色ノ輪ヲナスモノナリ
 (同圖 b)。Polypodium 屬ニ於テハ比較的稀ニ見ラル、所トス(例、P. pseudogrammitis, P. sarmentosum P. typicum)。

## Studia Monocotyledonearum Japonicarum (V)

auctore

Fumio Maekawa.

前川文夫: 日本產單子葉植物考察 (其五)

#### 13) Hosta Nakaiana F. MAEKAWA sp. nov. (Alcyone)

Rhizoma crassum erecto-ascendens ca. 8–10 mm. latum, nodis crassis cum reliquis petiolorum emortuorum setosis multis ca. 10 mm. longis erecto-patentibus annullari obtectis. Folia erecto-patentia ca. 10–12 cm. alta; petiolus 9–10 cm. longus 3–3.2 mm. latus anguste alatus profunde canaliculatus prope basin purpureo-punctatus; lamina oblongo-ovata apice recurvata acuminata basi cordatim-truncata, limbis basalibus subinvolutis 6.2–7.5 cm. longa 2.8–4.5 cm. lata nervis utrinque 5–7, margine repandula supra viridis subtus pallida textu membranaceo-chartacea. Scapus folia alte superans 35–45 cm. altus erectus saepe curvatus 2.2 mm. latus distincte carinato-angulatus basi obscure purpurascens apice vel infra apicem ca. 1–6.5 cm. distante unibracteatus, bracteâ ovato-oblongâ naviculare acuminatâ recurvataque viride ca. 2cm. longâ. Inflorescentia unica capitata. Bracteæ imbricatæ elliptico-orbiculares vel ellipticæ 14–17 mm. longæ 6–10 mm., latæ valde naviculares acutæ vel obtuso-